

平成17年度 学校経営計画(評価結果)

広島市立広島養護学校

<p>学校教育目標</p> <p>&lt;基本目標&gt; 児童・生徒の発達を保障する教育を行い、ひとりひとりの力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。</p> <p>&lt;学部目標&gt; 訪問学級:生きる力を育てる。</p> <p>小学部:先生や友達といっしょに生活する楽しさを感じ取り、自分から進んでものごとに取り組む力を育てる。</p> <p>中学部:主体的に生活する力を育てる。</p> <p>高等部:豊かに生活できる力をつける。</p>
--

<p>目指す学校像&lt;ビジョン&gt; ひとりひとりが大切にされ、児童・生徒、家庭、地域社会に信頼される学校</p> <p>・ひとりひとりの児童・生徒を大切にできる学校</p> <p>・専門性を高め合い、弛まぬ教育実践をおこなう学校</p> <p>・安全で、清潔で、整った学校</p> <p>・児童・生徒、家庭、地域社会に開かれた学校</p>
---

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価	次年度以降の課題と対応策	
学力の向上・豊かな人間性の育成	一人ひとりの児童・生徒を大切にできる教育活動を推進する。	個別の指導計画の内容充実を図り、教育活動に反映する。	個別の指導計画について研修を深める。	3	児童生徒の指導に反映され成果に結びつくよう常に課題を探りながら引き続き研修を行なう	
			個別の指導計画と評価に関する保護者との連携を深める。	4	更にアセスメント、指導、評価の充実を図りながら保護者へのアカウントビリティを果たし、信頼関係を構築するなかで連携を深めていく	
			個別の指導計画に基づいて教科・領域の指導の充実を図る。	3	個別の指導計画のなかで教科・領域での指導内容を明確にし、個別の指導計画が反映できるようにする	
		個別の教育支援計画を作成し教育活動に反映する	個別の教育支援計画の作成及びその手順について明確にしておく。	3	様式の検討や保護者との連携のあり方などを検討し充実した計画にしておく	
			個別の教育支援計画を教育活動に反映する。	2	教育支援計画を作成する中で得た情報を教育活動に活かす方法を検討する	
		個別の移行支援計画の作成についてシステム化を図り、積極的な活用を進める。	個別の移行支援計画の作成及びその手順について明確にしておく。	3	様式の検討も行ないながら計画を活用し、他機関との連携を深めていく(校内体制を構築する)	
			個別の移行支援計画を活用するなどして、労働・福祉機関との連携を深め、本人及び保護者への進路指導情報などの積極的な提供を図る。	3	継続して積極的な情報提供を図る	
		医療との緊密な連携を図る		言語聴覚士等との連携を深め、摂食・嚥下障害児の食事指導の充実を図る。	4	連携をとり、研修を深め指導の充実を図る
				主治医・看護師との連携を深め、医療的ケアの充実を図る。	3	さらに連携を深め指導の充実を図る
				医師や理学療法士等との連携を深め、自立活動の充実を図る。	3	継続して連携をとり指導の充実を図る
		社会体験や自然体験等、豊かな体験活動の教育活動への積極的な導入を図る。		校内外での各種体験活動について、教育課程上の位置づけを明確にする。	3	教育課程について研修をし明確にしておく
				各種の行事などを通じて、地域の人々や近隣校の児童生徒との触れ合いを推進する。	4	今年度同様推進していくが次年度は削除
				読書活動・本の読みきかせ等、コミュニケーション育成に関わる豊かな体験活動を推進する。	3	継続して推進していく
		専門性の向上	専門性を高め合い、弛まぬ教育実践を推進する。	日々の授業実践並びに、授業研究を通して指導方法や評価等についての研究を深める。	年間指導計画の作成と指導への反映、学期末のまとめの充実を図る。	3
授業研究を通して、ひとりひとりの課題に応じた指導方法・評価の工夫改善に努める。	4				公開授業を実施し、批評を仰ぎ改善に努める	
教育課題の改善に直結した専門研修を深める。	医療的ケアに関する研修を深める。			4	継続して研修していく	
	嚥下・摂食指導に関する研修を深める。			4	継続して研修していく	
	労働・福祉制度、施設、作業所等の状況に関する研修を深める。			4	継続して研修していくが次年度は削除	
	児童・生徒の人権の尊重に関する研修を深める。			4	継続して研修していくが次年度は削除	
	施設整備の定期点検及び改修を確実に実施する。			3	点検、修繕依頼のまとめを作成し実施していく	
教育環境の整備	安全で、清潔で整った教育環境づくりを推進する。	教室等の環境整備を図る。	教室、廊下にある物品等の整理整頓を進めるとともに掲示物などにも工夫する。	3	継続して整理整頓は常に行う	
			教室における温度等環境整備を進める。	3	普通教室の冷暖房は整ったので、次年度は削除	
		緊急時の予防安全体制の充実を図る。	緊急捜索に関する実際の訓練を実施し、体制の整備・改善を進める。	4	継続して改善に取り組み評価指標をステップアップさせる	
			火災・地震等に関する実際の訓練を実施し、体制の整備・改善を進める。	4	継続して改善に取り組み評価指標をステップアップさせる	
		不審者進入に関する教職員研修を実施し、体制の整備・改善を進める。	不審者進入に関する教職員研修を実施し、体制の整備・改善を進める。	4	継続して改善に取り組み評価指標をステップアップさせる	
			心肺蘇生に関する実際の訓練を実施し、緊急措置対応力を高める。	3	継続して訓練を実施する	
		中身の事故等への対応体制の整備を図る。	運行中の自動車事故に対応する緊急対応マニュアルの整備を進める。	2	マニュアルの整備を進める	
			児童・生徒の体調急変等に対応する緊急対応マニュアルの整備を進める。	2	マニュアルの整備を進める	
		保健・衛生の指導・管理体制の充実を図る。	給食・調理実習等における指導・衛生管理の徹底を進める。	3	担当と連携をとりマニュアルの周知徹底を継続して行う	
			感染症予防の指導・管理体制の整備・充実を進める。	3	感染症等がはやる季節ごとに再度確認をしながらマニュアルの周知徹底を継続して行う	
家庭・地域社会との連携	児童・生徒、家庭、地域社会に開かれた学校づくりを推進する。	学校協力者会議を設置し、保護者や地域社会との連携を深め、得られた意見・提言を踏まえ教育活動の改善・充実を図る。	学校協力者会議を設置し、教育活動への協力・支援や意見・提言を受け、学校運営の改善充実を図る。	2	協力者会議の充実を図り、学校運営に関しての具体的な意見提言をいただく、中間評価の時期を早める。	
			学校だより・進路だより等の発行、Webページの充実により、保護者への情報提供に努める。	3	情報の内容の充実を図る	
		外部情報の収集と校内周知に努める。	社会福祉協議会、広島市公民館、その他の外部情報を保護者に提供する。	3	継続して提供していく	
			地域社会や交流校等への諸行事の案内を進める。	4	継続して案内を進めるが次年度は削除	
		児童生徒の実態に即した交流教育を推進する。	各情報を積極的に収集するとともに、収集情報の内部周知を進める。	3	一層の情報収集と内部周知に努力する	
			特別支援教育に関する情報を収集し内部周知を進める。	4	一層の情報収集と内部周知に努力する	
新たな養護学校移行への対応	都市型・総合型の学校、地域の特別支援教育のセンター的役割を果たす学校づくりを構想する。	新たな学校作りの概念整理を進める。	特別支援学校について研修を深める	4	研修を深める共通の概念を構築していく	
			新設校の具体的構想づくりに向けて資料を集める。	4	継続して新しい資料を集める	
		学校建替えに関する基本構想及び基本計画の検討を進める。	他都市養護学校等の施設・整備に関する情報収集・整理を進める。	4	継続して情報収集・整理を行い共有化を図る	
			学校施設・整備について各学部の教育課程との関連から構想を取りまとめる。	3	教育課程との関連からの施設整備の構想を明確化させる	
		センター的機能とコーディネーターの在り方について検討する。	障害児教育関係備品の充実を図るとともに、学外からの貸し出し要請に可能な限り応じる。	4	今後も可能な限り応じていく	
			障害児教育研修会等における指導・助言の要請に可能な限り応じる。	3	今後も可能な限り応じていく	
			本校の各研修会に、小・中学校の障害児学級担任等へ働きかけていく。	4	校内の体制を整備し働きかけていく	
			本校の支援機能情報等のWebによる公開を進める。	2	一層公開を進めていく	
センター的機能・コーディネーターの在り方について研修・検討する。	3	校内の体制を整えていく				
先進校の視察・情報収集等を行い、収集情報の周知・共有化を図る。	3	継続して行っていく				